

# 令和元年度（上期）観光入込み数 増減要因

## 1 令和元年度の観光入込み数について

令和元年度の観光入込み数は **979,034 人** で、56,839 人の増（前年比 106.2%）となった。

【内訳】〔宿泊者数〕	55,465 人	10,298 人の増	（前年比 122.8%）
〔日帰り客数〕	923,569 人	46,541 人の増	（前年比 105.3%）

## 2 増減要因の総括について

来年4月にウポポイ（民族共生象徴空間）開設を控え、国や道、関係機関にて行うPRには白老の名も併せて周知されることから関心が高まり、また、各事業者の自主的なPR活動の効果と併せて前年比 106.2%の観光入込客数となったものと考えられる。個別には、アイヌ文化体験参加者数や仙台藩白老元陣屋資料館の来館者の伸びが顕著であり、虎杖浜温泉地区の宿泊客数も約2割増加している。

一方、訪日外国人の宿泊者数は約3割の減少があり、政治情勢等の影響があるものと考えられる。

## 3 地区別の主な増減要因

### 虎杖浜温泉地区（竹浦・虎杖浜地区）

虎杖浜温泉地区の全体の観光入込み数は **550,621 人** で、38,241 人の増（前年比 107.5%）となった。

#### 【虎杖浜温泉地区の増加要因】

「宿泊客（ホテル・旅館）」 51,833 人 9,703 人の増（前年比 123.0%）

- ほとんどの施設において前年比で利用者数が増加しており、事業者によるイベント開催や各種PR等の営業努力が実っているものと考えられる。また、ウポポイに関連した注目度が高まる中、テレビ等の媒体でも取り上げられており、相乗的なPR効果が表れている。

「自然景観」 73,079 人 7,549 人の増（前年比 111.5%）

- 主に倶多楽湖への来訪であるが、虎杖浜温泉地区の宿泊者数増加に伴う回遊性の高まりによるものと考えられる。

「まつり・イベント」 13,350 人 1,050 人の増（前年比 108.5%）

- 8月に開催した「かに・たらこ・温泉三大まつり」において、開催期間中の好天に恵まれたことから、来場者数が増加した。

#### 【虎杖浜温泉地区の減少要因】

※減少項目なし

## 白老地区（社台～北吉原地区）

白老地区の全体の観光入込み数は **428,413 人** で、18,598 人の減（前年比 104.5%）となった。

### 【白老地区の増加要因】

「体験・ツーリズム」 5,605 人 3,770 人の増（前年比 305.4%）

- ウポポイに関連したPRによりアイヌ文化への関心が高まっており、アイヌ文化体験の参加者数が前年比で大きく増加した。

「文化・歴史」 5,610 人 2,371 人の増（前年比 173.2%）

- 仙台藩白老元陣屋資料館において、企画展の開催や外国語ガイド端末の導入などにより来館者数が増加したものと考えられる。

「宿泊客（ホテル・旅館）」 3,632 人 595 人の増（前年比 119.6%）

- ウポポイに関連した工事が大詰めを迎え、関係者などによる利用が引き続き増加しているものと考えられる。

### 【白老地区の減少要因】

「日帰り（ホテル・旅館）」 290 人 475 人の減（前年比 37.9%）

- 日帰りの施設は少なく、利用者の減少によるもの。

「自然景観」 7,630 人 541 人の減（前年比 93.4%）

- インクラの滝、萩の里自然公園いずれも利用者が微減したことによる。

## 4 訪日外国人観光客の増減要因

「宿泊客数」 4,701 人 1,758 人の減（前年比 72.8%）

前年度までの増加傾向から一転して、約3割の減少となった。アイヌ民族博物館の閉館による来町数の減少や政治的情勢の影響によるものと考えられる。

◎主な国籍 韓国 1,196 人、中国 956 人、香港 481 人、台湾 466 人

## 5 過去5年間の入込客数の推移

平成27年度	1,063,841 人	( + 28,395 人	前年比 102.9%)
平成28年度	1,066,011 人	( + 2,170 人	" 100.2%)
平成29年度	1,042,910 人	( ▲ 23,101 人	" 97.8%)
平成30年度	922,195 人	( ▲ 120,715 人	" 88.4%)
令和元年度	979,034 人	( + 56,839 人	" 106.2%)